

狭山市自立支援協議会実務者会議 令和7年度活動報告

項目	内容
活動内容	実務者会議は、相談支援事業の活動成果を機軸とし、部会間の連絡調整及び協議会全体のマネジメントを担い、毎月開催する。 (主な内容) *毎月専門部会の報告は実施 4月 ・自立支援協議会の概要説明、令和7年度活動計画の確認 5月 ・相談支援事業・各専門部会報告(令和6年度総括) ・地域課題の整理と取り組みの状況の説明 ・Well-being2025 進捗報告 6月 ・勉強会「教育と福祉の連携について」 (狭山市教育センター：坂木センター長) ・Well-being2025 進捗報告 7月 ・地域課題検討①、Well-being2025 進捗報告 8月 ・地域課題検討②、Well-being2025 進捗報告 9月 ・地域課題検討③、Well-being2025 進捗報告 10月 ・Well-being2025 進捗報告 ・日中支援型共同生活援助施設の評価について (ソーシャルインクルー狭山上赤坂、AMANEKU 狭山) 11月 ・相談支援事業他上半期事業報告、Well-being2025 進捗報告 ・地域課題の整理(→今年度の地域課題を抽出) 12月 ・勉強会「権利擁護について」 (差別解消法・意思決定支援をグループディスカッション) 1月 ・Well-being2025 の振り返り 2月 ・第三者評価(アドバイザー派遣事業利用) (アドバイザー：埼玉県相談支援専門員協会岡村氏) ・相談支援事業、各部会の報告 3月 ・令和8年度事業計画について
総括	令和7年度は昨年度に倣い、例年通りのスケジュールを大きく改変することなく無事に行っている。しかしながら、例年4ヶ月にわたって行っていた「地域課題の抽出」については、3ヶ月へ変更。時間的に余裕を持ち、より精度を高めるために期間を減らすこととした。勉強会については、今まで関りがなかった教育センターとの連携の機会と捉え、今後、相互協力できるような関係を体制化した。Well-Being2025 は、開催場所を入曽市民交流センターにて初の試みで行い、参加団体は過去最大であったことと、併せて翌週のパネル展示も、狭山市役所庁内エントランスで行うことができた。今後の課題もあったが、好評を頂き終えることができた。